

# インターロッキングブロック設計施工要領

## 各種舗装材の標準路盤構造例

	歩行者系道路	最大積載量39kN以下の 管理用車両の通行する道路	乗用車主体の駐車場
<b>普通</b> <b>インターロッキングブロック</b> ・イメージ ・コルゲート300 ・スタンダード など	<p>敷砂 クラッシュラン (C-30 または RC-30)</p>	<p>敷砂 クラッシュラン (C-30 または RC-30)</p>	<p>敷砂 粒度調整碎石 クラッシュラン (C-30 または RC-30)</p>
<b>透水性</b> <b>インターロッキングブロック</b> ・アクアス ・イメージ (透水性) ・コルゲート300 (透水性) ・ウォータースルー	<p>敷砂 透水シート フィルター層または透水シート クラッシュラン (C-30 または RC-30)</p>	<p>敷砂 透水シート フィルター層または透水シート クラッシュラン (C-30 または RC-30)</p>	<p>敷砂 透水シート フィルター層または透水シート クラッシュラン (C-30 または RC-30)</p>
<b>保水性</b> <b>インターロッキングブロック</b> ・コルゲート300 (保水性)	<p>敷砂 クラッシュラン (C-30 または RC-30)</p>	<p>敷砂 クラッシュラン (C-30 または RC-30)</p>	/
<b>植生用</b> <b>インターロッキングブロック</b> ・グリッド ・MBグラス	<p>客土 芝草 透水シート フィルター層または透水シート クラッシュラン (C-30 または RC-30) 敷砂</p>	<p>客土 芝草 透水シート フィルター層または透水シート クラッシュラン (C-30 または RC-30) 敷砂</p>	<p>客土 芝草 透水シート フィルター層または透水シート クラッシュラン (C-30 または RC-30) 敷砂</p>
<b>50mm厚</b> <b>レンガペーパー</b> ・フォレストペーパー ・ブリスベンペーパー	<p>敷砂 クラッシュラン (C-30 または RC-30)</p>	/	/

注) ・透水性舗装では、路床土品質や透水処理条件により路盤構造が変わります。ここでは路床土が砂質系で、水を路床下へ浸透させる場合、あるいは集水管・放流孔で排水する場合を記載してあります。条件に適合した検討が必要です。

- ・フィルター層の代わりに透水シート (ペイプメイト) を使用することができます。
- ・この路盤構造例は、材料特性なども考慮しております。また、これらは標準的な構造の例であり、適宜、検討が必要な場合があります。
- ・この路盤構造例は、設計CBRが3以上の路床上に用いることを原則としています。
- ・寒冷地など凍害のおそれがある場合には、路面の一部を、凍上抑制層 (川砂、切込砂利など材質の良いもの) に置き換える必要があります。

※最大粒径4.75mm以下で75μmふるい通過量5%以下のシルトや泥分が少なく、ごみ、小石などを含まない砂。

- インターロッキングブロック/レンガ
- 敷砂 (※良質の砂)
- 透水シート
- 粒度調整碎石 (M-30 または RM-30)
- クラッシュラン (C-30 または RC-30)
- フィルター層 (砂)
- 路床

## 歩行者系道路の構造設計

付表2-1 歩行者系道路の舗装構造

インターロッキング ブロックの種類とタイプ		インターロッキングブロック層(cm)		路 盤(cm)	合計 厚さ (cm)
		インターロッキング ブロック	敷 砂	クラッシャーラン (C30またはRC30)	
普通	セグメンタル	6	3	10	19
	フラッグ	6(8)(注)	3	10	19(21)

注:8cm厚は、フラッグタイプブロックの寸法が298×598,398×598,398×398,448×448,498×498mmに適用する。(第3章)

付表2 普通道路(交通量区分N<sub>4</sub>,N<sub>3</sub>)の構造例

交通量 区 分	設計 期間 (年)	ブロック 層の T <sub>A</sub> (cm)	設計 CBR (%)	ブロック層 (cm)		上層路盤(cm)			下層 路盤 (cm)	合計 厚さ (cm)	T <sub>A</sub> ' (cm)	必要 T <sub>A</sub> ' (cm)
				ブロック	敷砂	瀝青 安定処理	セメント 安定処理	粒度 調整碎石	クラッシャーラン			
N <sub>4</sub> 注1	10	8	3	8	2	8	—	—	19	37	19.2	19
		8	4	8	2	7	—	—	18	35	18.1	18
		8	6	8	2	5	—	—	16	31	16.0	16
		8	8以上	8	2	5	—	—	10	25	14.5	14
	20	8	3	8	2	10	—	—	20	40	21.0	21
		8	4	8	2	8	—	—	23	41	20.2	20
		8	6	8	2	5	—	—	20	35	17.0	17
		8	8	8	2	5	—	—	16	31	16.0	16
		8	12以上	8	2	5	—	—	10	25	14.5	14
		8	3	8	2	—	15	—	15	40	20.0	19
N <sub>3</sub> 注2	10	8	3	8	2	—	15	—	19	44	21.0	21
		8	4	8	2	—	15	—	15	40	20.0	20
		8	3	8	2	5	—	—	12	27	15.0	15
		8	4以上	8	2	5	—	—	10	25	14.5	14
	20	8	3	8	2	5	—	—	20	35	17.0	17
		8	4	8	2	5	—	—	12	27	15.0	15
		8	6以上	8	2	5	—	—	10	25	14.5	13

注1:交通量区分N<sub>4</sub>で、設計期間10年、設計CBR4以上の場合と設計期間20年、設計CBR6以上の場合では瀝青安定処理の使用を原則とする。

注2:交通量区分N<sub>3</sub>は、セメント安定処理を使用すると経済性に欠けるため瀝青安定処理の使用を原則とする。

付表3 普通道路(交通量区分N<sub>2</sub>,N<sub>1</sub>)の構造例

交通量 区 分	設計 期間 (年)	ブロック 層の T <sub>A</sub> (cm)	設計 CBR (%)	ブロック層 (cm)		上層路盤 (cm)	下層路盤 (cm)	合計 厚さ (cm)	T <sub>A</sub> ' (cm)	必要 T <sub>A</sub> ' (cm)
				ブロック	敷砂	粒度 調整碎石	クラッシャーラン			
N <sub>2</sub>	10	8	3	8	2	7	7	24	12.2	12
		8	4	8	2	7	7	24	12.2	11
		8	6以上	8	2	8	—	18	10.8	10
	20	8	3	8	2	8	10	28	13.3	13
		8	4	8	2	7	7	24	12.2	12
		8	6	8	2	9	—	19	11.2	11
N <sub>1</sub>	10	8	8以上	8	2	8	—	18	10.8	10
		8	3	8	2	7	7	24	12.2	9
		8	4	8	2	7	7	24	12.2	9
		8	6以上	8	2	8	—	18	10.8	8
	20	8	3	8	2	7	7	24	12.2	10
		8	4	8	2	7	7	24	12.2	10
		8	6以上	8	2	8	—	18	10.8	9

## 品質規格

表 インターロッキングブロックの品質規格

種類	項目	車道		歩行者系道路	
		駐車場 (大型車主体)		駐車場 (乗用車主体)	
		歩道の車両乗入れ部 (大型車主体)		歩道の車両乗入れ部 (乗用車主体)	
		消防車両乗入れ部		—	
普通	寸法(幅,長さ)	±2.5mm以内			
	厚さ	±2.5mm以内			
	曲げ強度	5.0MPa以上	3.0MPa以上		
透水性	寸法(幅,長さ)	±2.5mm以内			
	厚さ	-1.0~+4.0mm以内			
	曲げ強度	5.0MPa以上	3.0MPa以上		
	透水係数	1.0×10 <sup>-2</sup> cm/sec以上			
保水性	寸法(幅,長さ)	±2.5mm以内			
	厚さ	±2.5mm以内	-1.0~+4.0mm以内		
	曲げ強度	5.0MPa以上	3.0MPa以上		
	保水性	保水量0.15g/cm <sup>3</sup> 以上			
	吸水性	吸上げ高さ70%以上			
植生用ブロック	寸法(幅,長さ)	±2.5mm以内			
	厚さ	±2.5mm以内			
	曲げ強度	4.0MPa以上			

注1:すべり抵抗値(BPN値)は,歩行者系道路では40以上,その他は60以上とする。

注2:ブロックの形状その他の理由により,曲げ強度試験ができない場合は,コアによる圧縮試験を行う。規格値は,曲げ強度5.0MPa以上のものは圧縮強度32.0MPa以上,曲げ強度3.0MPa以上のものは圧縮強度17.0MPa以上とする。

### ● 標準施工

